

平成27年12月議会
第4委員会報告資料

都心循環BRTの検討について

平成27年12月18日

住 宅 都 市 局

都心循環BRTの検討について

1. 福岡市における目標とする交通体系

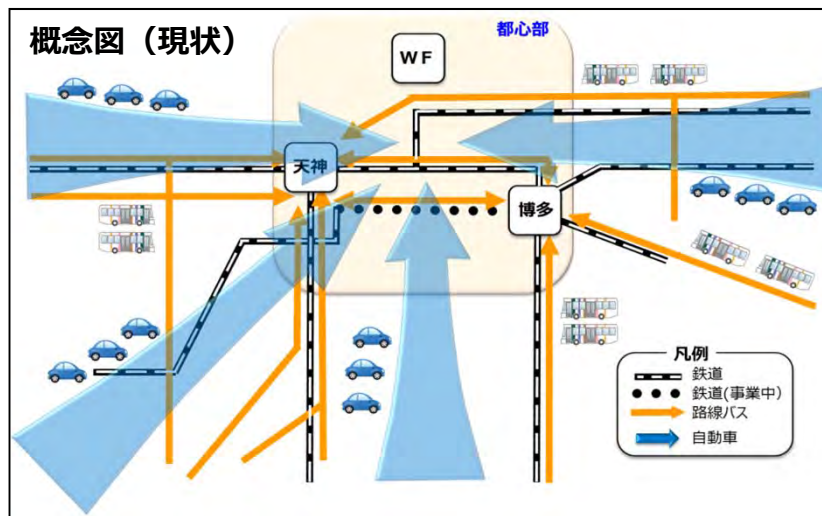
都心部における交通の課題

バス・自動車の多くが都心部に直接流入し、
都心部の交通混雑やバス交通の定時性・速達性が低下

目標とする将来の交通体系

公共交通を主軸とし多様な交通手段が有機的・効率的に連携した総合交通体系の構築

自動車交通量の削減・抑制や公共交通への利用転換を誘導



総合的な交通対策

道路整備

地下鉄七隈線
延伸

交通
マネジメント

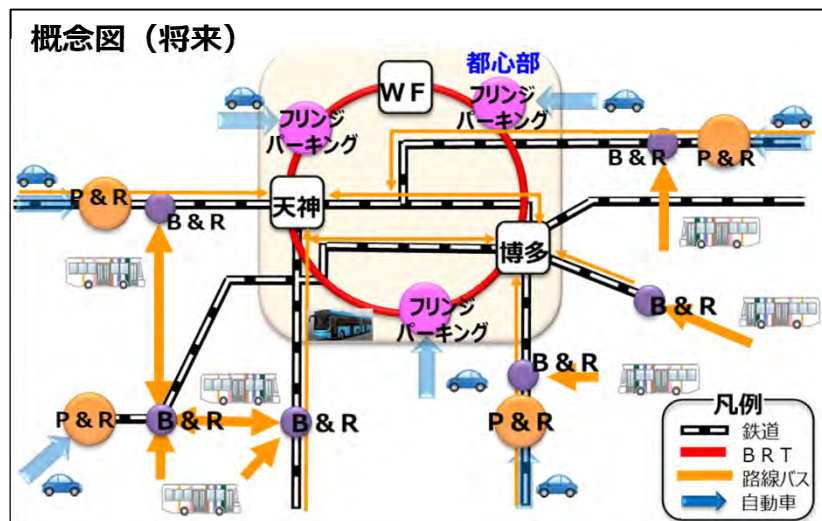


都心循環BRT
の形成

バス路線
再編・効率化

フリッジ
パーキングの確保

行政，交通事業者，交通管理者，市民・企業などの連携により推進



2. 都心循環BRTの検討

都心循環BRTについては、福岡市と交通事業者が適切に役割分担しながら、連携して検討を進めていく。

(1) ルート

鉄道ネットワークと連携して天神・渡辺通地区、博多駅周辺地区、ウォーターフロント(以下、WF)地区の3拠点を結ぶことや、都心周辺部駐車場からの乗り継ぎの観点に加え、運行を担う交通事業者の意向を踏まえ、環状ルートを基本として検討を進めていく。

※停留所位置については検討中

<検討の視点>

- 公共交通優先（自動車流入抑制）のまちづくり
 - ・ルート内側への自動車流入抑制
 - ・都心周辺部駐車場からの回遊性向上
- バス路線再編・効率化の推進
 - ・需要が大きい天神⇄博多間の輸送の一部を都心循環BRTが担うことにより重複系統の整理が可能
- 効率的な輸送
 - ・環状ルートとすることで、都心部での不要な回送運行が発生しない
(天神・博多⇄WFの2拠点間輸送の場合は、天神や博多を中心とした回送が生じる)

<定時性・速達性の向上>

- 専用レーンの活用を含めた専用走行空間のあり方について検討中（交通管理者や交通事業者など）

(2) 車両

識別性や輸送効率に加え、運行を担う交通事業者の意向を踏まえ、連節バスを想定している。

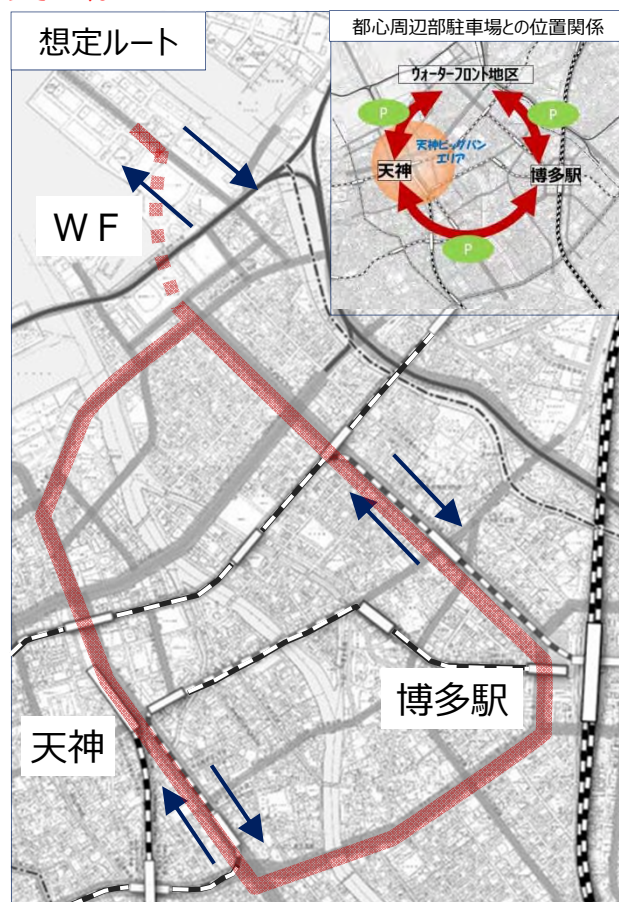
(右左折などについては、試走結果を踏まえ交通管理者と協議しながら安全性を確保していく。)

<連節バスの特性>

- 乗車する車両がわかりやすい（識別性が高い）
 - ⇒ 公共交通の利便性向上や利用促進
 - ※車両や停留所などのトータルデザイン
- 輸送効率が良い
 - ⇒ 運転士1名で運べる乗客が増加
 - ※約70名→約130名

<導入における課題>

- 乗降時間の短縮（乗降方法や料金收受方法）



※ ■ ■ ■ ■ は、WF地区における公共交通専用動線

車両イメージ



～ 主な車両諸元 ～

- ・全長：約18m ※通常の路線バス：約11m
- ・定員：約130名 ※通常の路線バス：約70名
- ・内輪差：約3.4m ※通常の路線バス：約3.0m

(3) 試行運行における運行計画

平成28年6月頃からの連節バス2台による試行運行に向けて検討を進めている。

<目的>

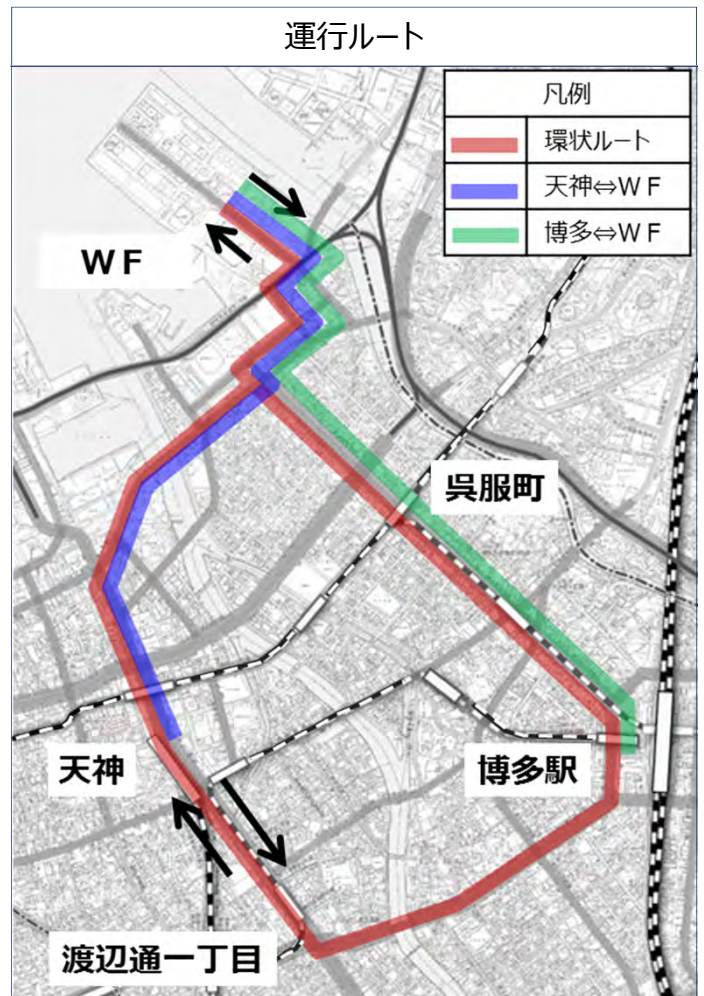
- 識別性が高く輸送効率が良い連節バスを市民に認知してもらうとともに、快速運行を行いながら課題を抽出し、本格運行に向けた改善・検討を行うもの。

<運行内容>

- 快速運行
 - ・停留所については、天神地区、渡辺通地区、博多駅周辺地区、呉服町地区、WF地区を検討
- 運行ルート
 - ・環状ルートに加え、WF地区におけるイベント時については、天神地区⇔WF地区、博多駅周辺地区⇔WF地区のピストン運行(臨時)を実施
- 運賃・乗降方式
 - ・交通事業者にて3ドアの活用を前提に検討中

<検証内容>

- 停留所
 - ・停車位置，上屋位置
- 定時性・速達性
 - ・環状ルートやピストン運行時における所要時間
 - ・料金收受方法，3ドアを活用した乗降取扱い方法
 - ・定時性や速達性，交通結節を考慮した停留所の数
- わかりやすさ
 - ・鉄道・地下鉄・マイカーなどの乗継を考慮した案内誘導表示の検討
- その他
 - ・利用者数（利用者の推移）
 - ・運行時間帯（ピークやオフピーク時間帯の把握）
 - ・イベント時における連節バスの必要台数 など



3. 今後の進め方

都心部における総合的な交通対策の1つである「都心循環BRTの形成」については、「バス路線再編・効率化」や「フリンジパークングの確保」と連携しつつ、試走や試行運行を行いながら検討を進めていく。

<検討内容>

- 都心循環BRTの形成
 - ・専用走行空間のあり方
 - ・トータルデザイン
 - ・停留所位置を含めた運行計画
 - ・試行運行時における停留所位置

■ バス路線の再編・効率化

【路線再編の方針】

- ・都心循環BRTの形成に併せた重複システムの整理
- ・乗り継ぎ施策の更なる推進
 - ⇒ これらの方針に基づき、交通事業者が主体となり都心部に流入しているバス路線の便数削減を図る。

■ 都心周辺部駐車場（フリンジパークング）の確保

- ・附置義務制度の見直し

<試行運行に関する今後のスケジュール>

平成27年度				平成28年度			
4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
		● 試走（夜間）					
					● 試走（昼間）予定		
					● 試行運行開始（予定）		
		● 試行運行などの検討			● 運行方法の検証		

【参考】 連節バス試走の結果

<実施内容>

- 平成27年8月26日、27日 ※共に0時～6時
- ・交差点右左折状況、停留所における影響などの検証（交通管理者などによる乗車・立会）

<試走結果>

- 確認した48箇所（交差点20箇所、停留所24箇所、施設4箇所）のうち10箇所について改良が必要
 - ⇒ 道路管理者（福岡市）や施設管理者にて改良予定

